

医療、福祉 < 1 >

支援先企業の概要	
・業種	医療・福祉
・創業後年数（10年未満であれば○）	○
・企業規模（中小企業者に該当する場合には○）	○
経営支援前の企業の状況	
○病棟新築、医療機器購入にかかる大型設備投資を実施したものの、その後の医療改革等による診療報酬のマイナス改定等の影響も相俟って収入は伸びず、償却負担大きく赤字体質。 ○キャッシュフローはプラスであったが、約定返済額、恒常的な設備投資に対応するため預金取崩し現預金残は限界に。またB / S上は、債務超過目前の状況。	
経営支援概要	
< 当行の施策 > ○企業再生支援専担者（2名）を6ヶ月派遣し、経営改善計画書の策定支援にあたる。 ○医師（副院長クラス）、看護師（師長クラス）、検査技師、医事・総務職員、顧問公認会計士、当行行員（計11名）による経営改善プロジェクトチーム（以下PT）を組成。 改善PTにて 現状実態の再認識、経営環境分析、経営戦略策定、具体的改善策の検討を行った。 ○「収益上の改善策」により当面の利益確保の基礎を完成させ、「組織上の改善策」により職員の経営改善、職務へのモチベーション向上を目指した。	
< 当該企業の施策 > ○「収益上の改善策」として 保険診療点数体系の変更（施設基準見直し）、仕入方式の見直し、業務委託の見直しについて、改善PTを通じ具対策を検討・実施した。 ○「組織上の改善策」として、組織変更（権限委譲と責任の明確化による活性化）、意思決定機構の新設、等を検討実施。経営改善計画の進捗状況についての管理態勢の強化と、経営改善活動の全職員への周知徹底を図った（職員からの改善提案の積極的取上げを行った）。	
経営支援後の企業の状況	
○売上高は順調に改善。また経常利益についても3期以上赤字が継続していたが、初年度は赤字幅が大きく改善、計画2期目（06/3期）にて黒字転換し、自己資本も回復。 06年9月期にて「要注意先」から「正常先」へランクアップ。	